

# 京都府の地震活動

令和2年（2020年）3月

第 33 卷 第 3 号

## 京都地方気象台

### 目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】「京都府の地震活動」の掲載の図の見方について	・・・ 6

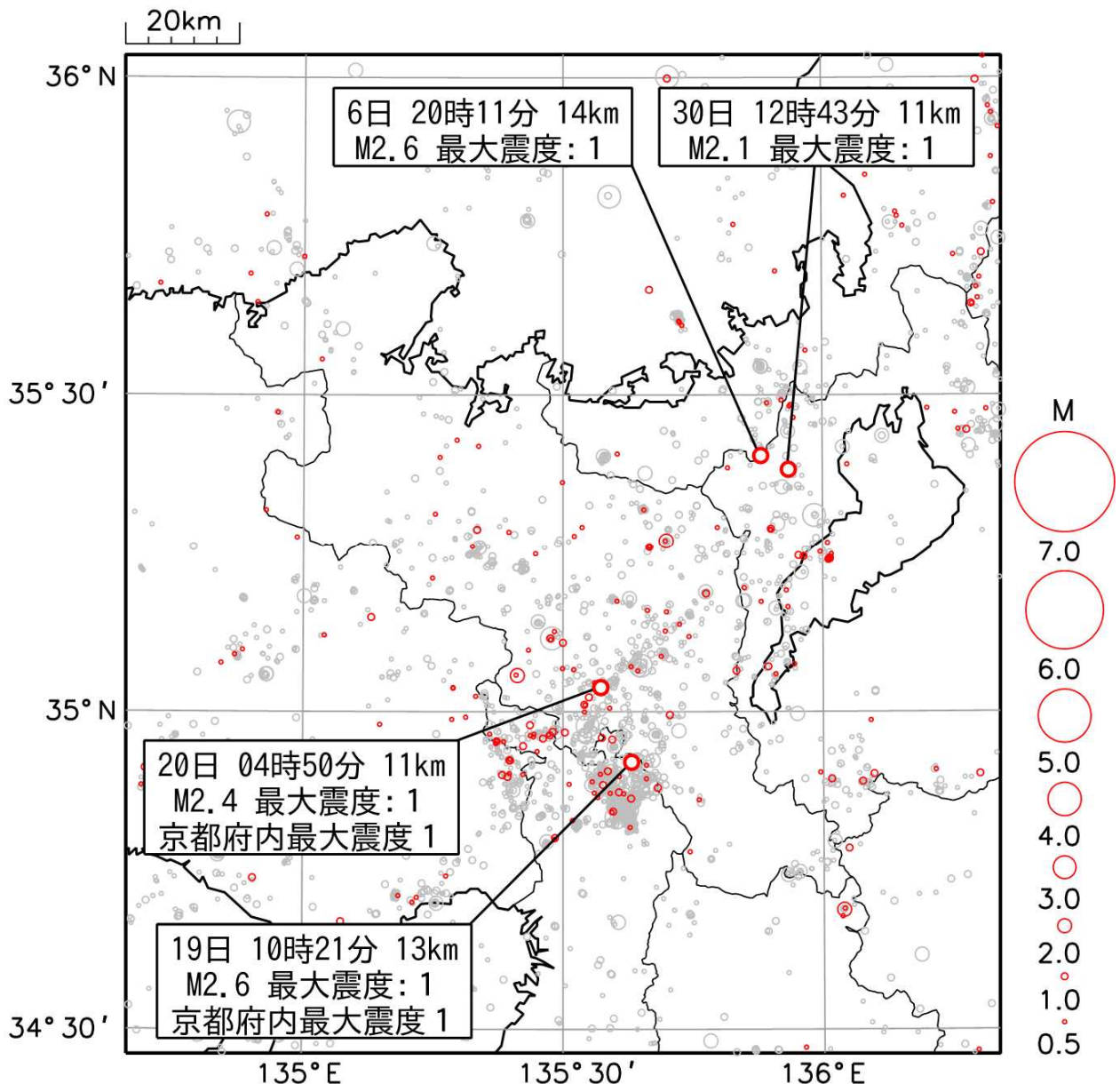
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

## 震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・（2019年4月1日～2020年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2020年3月の地震を赤く表示（総数240）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。

### 概況

3月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は7回、震度1以上の揺れを観測した地震は4回発生しました（2月はそれぞれ4回、1回）。

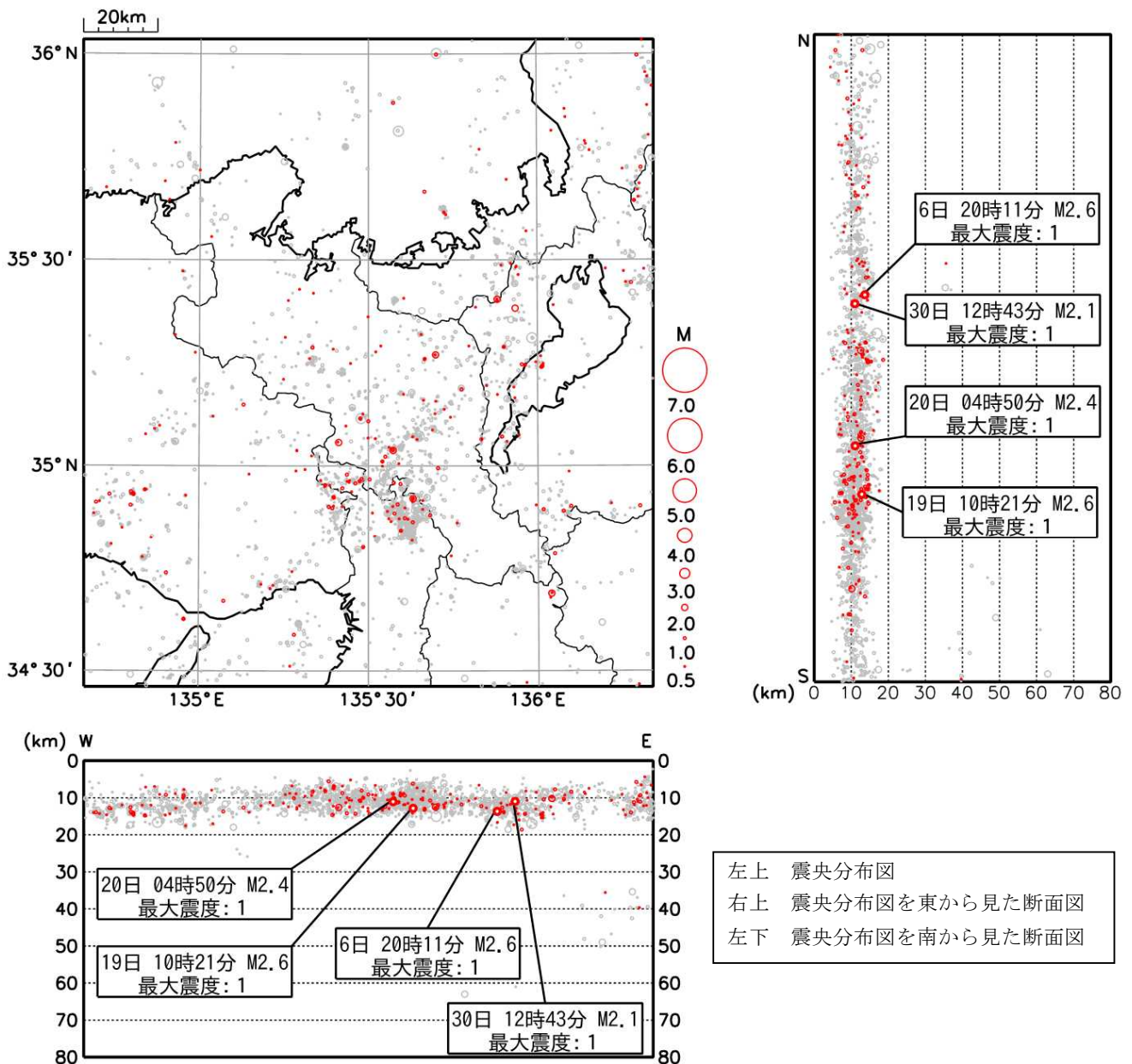
京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は3回ありました（2月は1回）。

13日02時18分 石川県能登地方の地震（図の領域外：M5.5、深さ12km）により、京都府京丹後市・亀岡市・南丹市・伊根町・与謝野町で震度1を観測したほか、東北地方から中国地方にかけて震度5強～1を観測しました。

19日10時21分 大阪府北部の地震（M2.6、深さ13km）により、京都府長岡京市・八幡市・大山崎町・久御山町で震度1を観測しました。

20日04時50分 京都府南部の地震（M2.4、深さ11km）により、京都府亀岡市で震度1を観測しました。

## 震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



左上 震央分布図  
 右上 震央分布図を東から見た断面図  
 左下 震央分布図を南から見た断面図

- ・ (2019年4月1日～2020年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ )
- ・ 2020年3月の地震を赤く表示（総数240）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード (M) を付記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

## 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2020年3月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	3月13日	02:18	石川県能登地方	37° 16.7'	136° 49.4'	12	5.5
②	3月19日	10:21	大阪府北部	34° 55.2'	135° 37.8'	13	2.6
③	3月20日	04:50	京都府南部	35° 02.2'	135° 34.3'	11	2.4

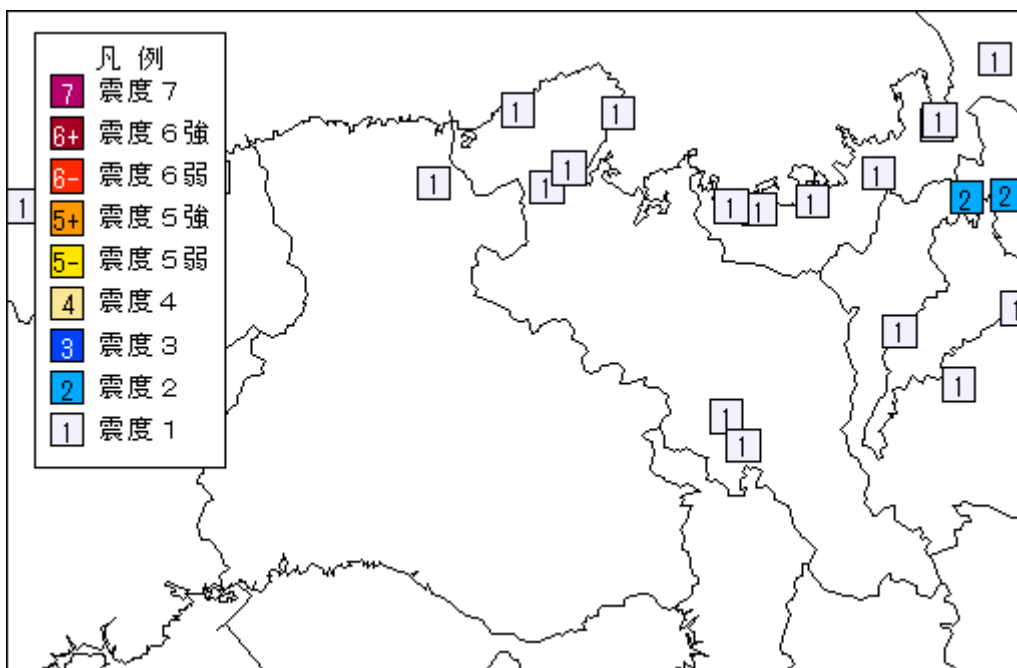
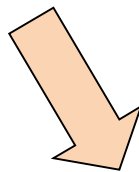
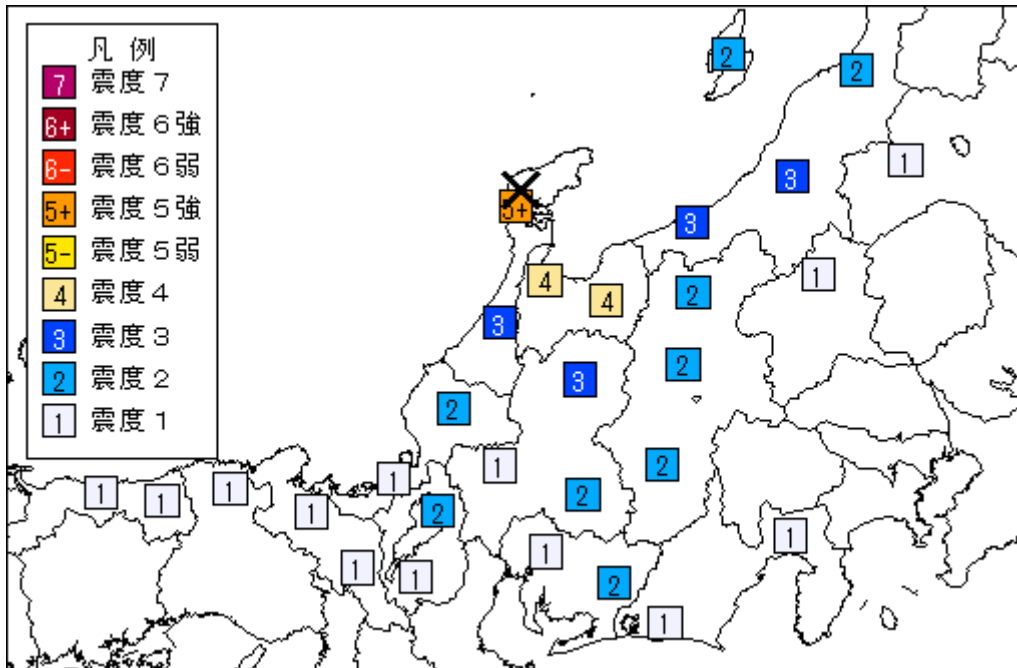
震度観測点	所属	各地の震度		
		①	②	③
福知山市内記	気	-	-	-
福知山市長田野町	防	-	-	-
福知山市三和町千束	自	-	-	-
福知山市夜久野町額田	自	-	-	-
福知山市大江町河守	自	-	-	-
舞鶴市下福井	気	-	-	-
舞鶴市浜	防	-	-	-
舞鶴市北吸	自	-	-	-
綾部市若竹町	自	-	-	-
宮津市柳縄手	自	-	-	-
伊根町亀島	防	-	-	-
伊根町日出	自	1	-	-
京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-	-
京丹後市久美浜町広瀬	防	-	-	-
京丹後市峰山町	自	-	-	-
京丹後市大宮町	自	-	-	-
京丹後市網野町	自	1	-	-
京丹後市丹後町	自	-	-	-
京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-	-
京丹後市久美浜市民局	自	-	-	-
与謝野町加悦	自	-	-	-
与謝野町岩滝	自	1	-	-
与謝野町四辻	自	1	-	-
京都北区紫竹	自	-	-	-
京都北区中川	自	-	-	-
京都上京区藪ノ内町	自	-	-	-
京都上京区今出川御前	自	-	-	-
京都左京区広河原能見町	防	-	-	-
京都左京区田中	自	-	-	-
京都左京区鞍馬	自	-	-	-
京都左京区花脊	自	-	-	-
京都左京区岩倉	自	-	-	-
京都左京区大原	自	-	-	-
京都中京区西ノ京	気	-	-	-
京都中京区河原町御池	自	-	-	-
京都東山区清水	自	-	-	-
京都下京区河原町塩小路	自	-	-	-
京都南区西九条	自	-	-	-
京都右京区京北周山町	自	-	-	-
京都右京区太秦	自	-	-	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度		
			①	②	③
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-	-
	京都伏見区竹田	自	-	-	-
	京都伏見区醍醐	自	-	-	-
	京都伏見区向島	自	-	-	-
	京都伏見区淀	自	-	-	-
	京都伏見区久我	自	-	-	-
	京都山科区安朱川向町	防	-	-	-
	京都山科区西野	自	-	-	-
	京都西京区檜原	自	-	-	-
	京都西京区大枝	自	-	-	-
	宇治市宇治琵琶	気	-	-	-
	宇治市折居台	防	-	-	-
	亀岡市安町	気	1	-	1
	亀岡市余部町	防	-	-	-
	城陽市寺田	自	-	-	-
	向日市寺戸町	自	-	-	-
	長岡京市開田	自	-	1	-
	八幡市八幡	自	-	1	-
	大山崎町円明寺	自	-	1	-
	久御山町田井	自	-	1	-
	京田辺市田辺	自	-	-	-
	井手町井手	自	-	-	-
	宇治田原町荒木	自	-	-	-
	笠置町笠置	自	-	-	-
	和束町釜塚	自	-	-	-
	精華町南稻八妻	自	-	-	-
	南山城村北大河原	自	-	-	-
	京丹波町坂原	気	-	-	-
	京丹波町蒲生	自	-	-	-
	京丹波町橋爪	自	-	-	-
	京丹波町本庄	自	-	-	-
	南丹市美山町島	自	-	-	-
南丹市園部町小桜町	自	-	-	-	
南丹市八木町八木	自	1	-	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	-	
木津川市山城町上狛	自	-	-	-	
木津川市加茂町里	自	-	-	-	
木津川市木津	自	-	-	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、3月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

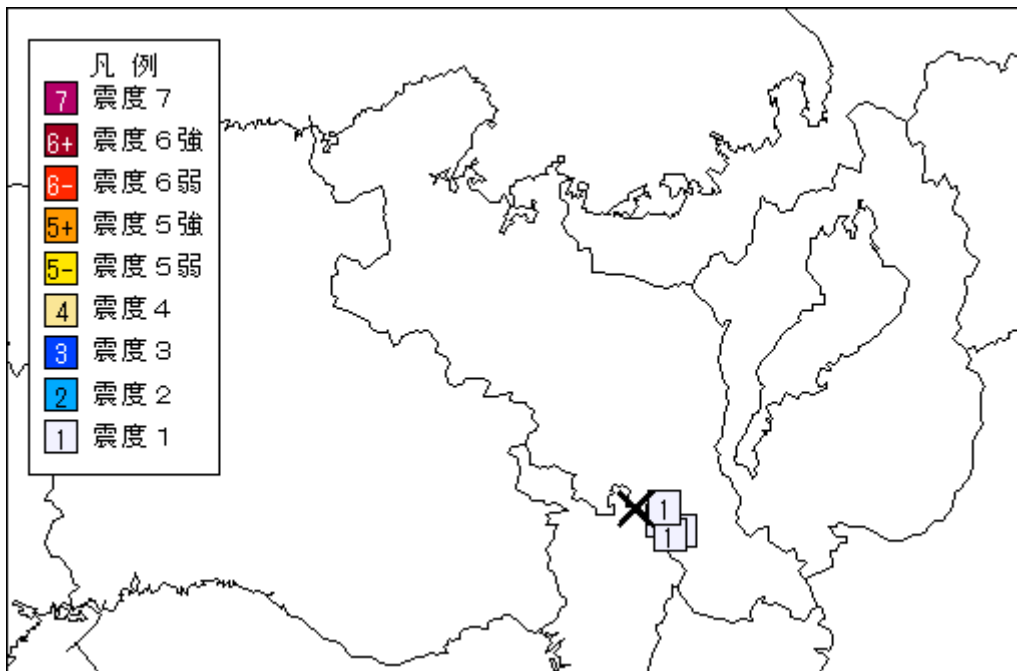
① 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図  
 (上図：地域別、下図：観測点別)



3月13日 02時18分 石川県能登地方の地震 (M5.5、深さ12km)

(図中の×印は震央位置)

② 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



3月19日 10時21分 大阪府北部の地震 (M2.6、深さ13km)

(図中の×印は震央位置)

③ 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



3月20日 04時50分 京都府南部の地震 (M2.4、深さ11km)

(図中の×印は震央位置)

## 【地震一口メモ】

### 「京都府の地震活動」の掲載の図の見方について

今回は、「京都府の地震活動」に掲載している「震央分布図」、「断面図」、「震度分布図」について説明します。

#### ●震央分布図と断面図について(図1)

地下で地震が発生した場所を「震源」と言い、その真上の地表位置を「震央」と言います。震央分布図は、ある期間に発生した地震の震央をプロットしたものです。プロットするシンボルマークの大きさにより地震の規模(M:マグニチュード)を表現しています。また、断面図は震央分布図で表示している範囲の震源を鉛直断面に投影することで、震源の鉛直分布を表示します。この3月の断面図からも、京都府および周辺で発生している地震の多くが、深さ20kmより浅い地震(陸域の浅い地震)ということが分かります。

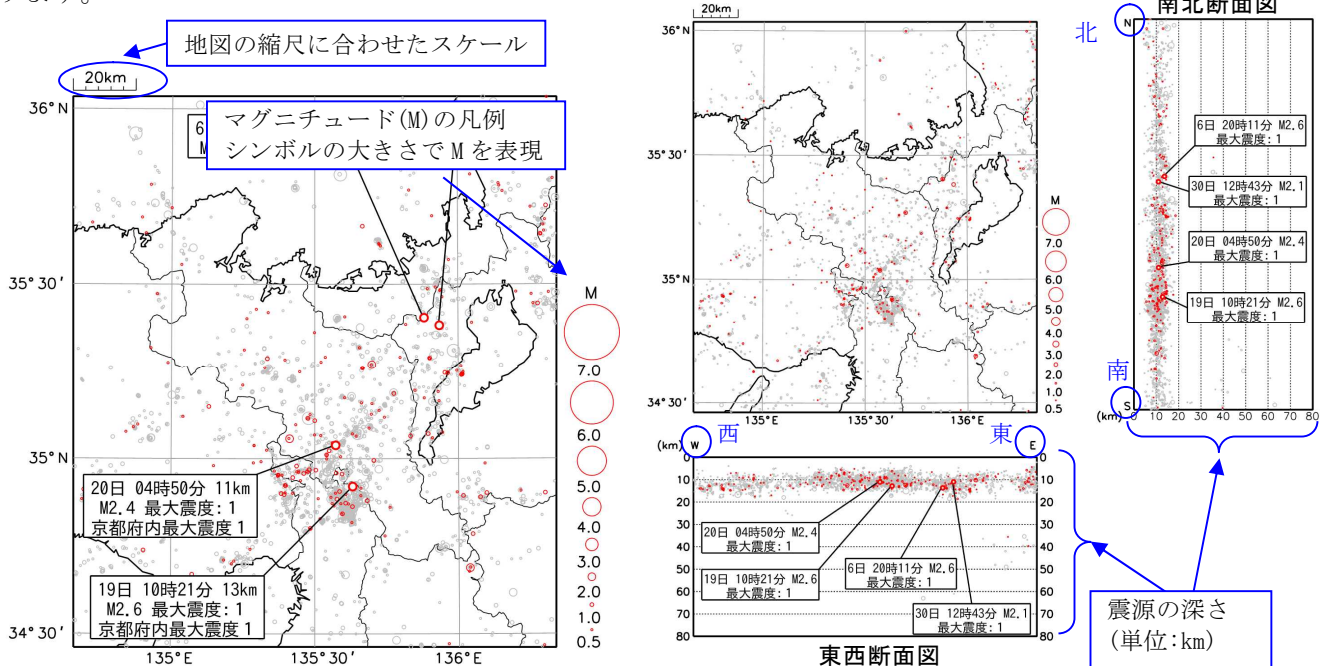


図1 震央分布図と断面図

#### ●震度分布図について(図2)

震度計で観測した震度を地図上に記載した図を震度分布図と言います。気象庁の震度階級は「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級となっています。震度分布図では、震度5弱を5-、5強を5+、6弱を6-、6強を6+で表現します。『京都府の地震活動』では地域別、観測点別の2種類を使用しており、震度を観測した観測点の数により使い分け、分かりやすい図となるよう作成しています。

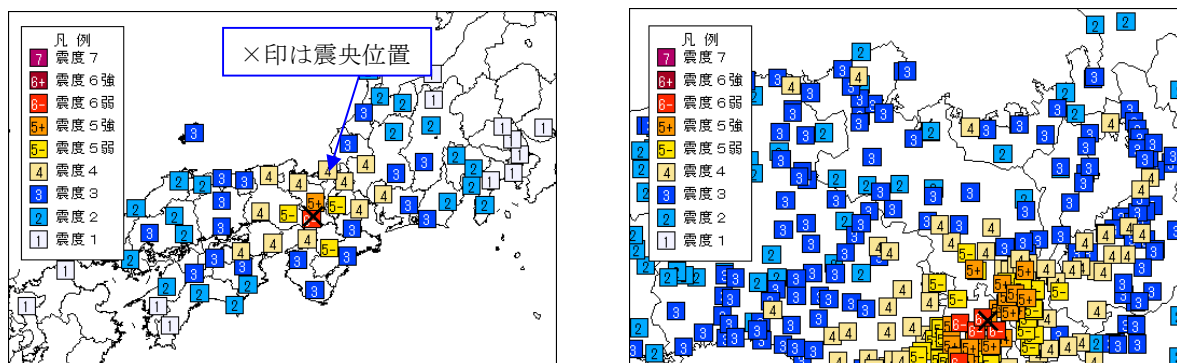


図2 震度分布図(2018年6月18日「大阪府北部の地震」の例)  
左:各地域の震度分布図、右:各観測点の震度分布図